

第5学年 算数科学習指導案

1. 日時 令和7年10月31日(金) 第5校時〈1:35～2:20〉
 2. 学年・組 5年2組 学習室 A【等分割】
 3. 単元名 「図形の面積 面積の求め方を考えよう」(学校図書 5年下)
 4. 指導計画〈全 13 時間〉

時	学習内容		評価規準		
			知・技	思・判・表	主体的
1	平行四辺形	・平行四辺形を長方形に等積変形して、面積を求める。			◎
2		・面積を求めるために必要な長さを考え、底辺、高さという用語を知り、平行四辺形の求積公式をつくる。		○	
3		・高さの測り方に気づき、面積を求める。		○	
4		・底辺に垂直を引いた直線が向かい合った辺に交わらない場合について、面積の求め方を考える。		○	
5		・底辺と高さの等しい平行四辺形は、面積が等しいことに気づく。 ・平行四辺形の求積公式をもとにして、底辺の長さを求める。	◎	○	
6	三角形	・三角形を既習図形に等積変形や倍積変形して、三角形の面積を求められることに気づく。		○	○
7		・三角形の底辺と高さの関係を理解し、三角形の求積公式を知り、面積を求める。	◎	○	
8		・頂点から引いた垂線(高さ)が、底辺の延長上で交わる場合の三角形の面積の求め方を考え、底辺も高さも等しい三角形の面積を考える。 ・三角形の面積と底辺の長さから、高さを求める。	○		
9 (本時)	台形	・台形は、既習図形に等積変形、倍積変形すれば、面積が求められることに気づく。		◎	○
10		・台形の求積公式を考える。	○	◎	
11	ひし	・ひし形は既習図形に変形すれば、面積が求められることに気づく。 ・対角線が直交する四角形の面積を、ひし形の求積公式を利用して求める。	○		
12	四角形・五角	・一般の四角形や五角形の面積の求め方を考える。 ・求積のできるいくつかの既習図形に分割すれば、面積が求められることに気づく。		○	○
13	学習のまとめ				

8. 本時の目標

・既習の求積公式を活用し、台形の面積を求めることができる。

9. 本時の展開 (9/13時)

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入 10分	○前時までのふりかえり ○課題を提示する。	・既習の図形(長方形・正方形・平行四辺形・三角形)の面積の公式を確認する。 ・面積の求め方が分からない図形でも、知っている図形に変形させることで求められることを思い出させる(切って回転させる。2つつける)。	
	㊦ 台形の面積の求め方を考えよう。 ○問題解決への見通しを立てる。 (予想される反応) ・切って回転させる。 ・2つつける。	・平行四辺形や三角形の時はどうしていたかを想起させる。	
展開 10分	○自分で課題に取り組む。 ・アプリの画面をロイロノートに貼り付け、提出する。	・等積変形のアプリを提示し、課題解決のための手立てを選択させる。 ・図形を切って考える場合は、1回にしよう伝える。 ・図形を変形させたあと、底辺を赤、高さを青で色分けすることを確認する。 ・課題解決のようすを見て、必要であれば、何人かの児童の考えを取り上げ、考えの道筋を与える。	・既習の考えを使って台形の面積を求めようとしている。態度 ・台形を既習の求積公式が使える形に変えて、面積の求め方を考えている。思・判・表
10分	○全体で交流する。	・考えをテレビ画面で確認したあと黒板に整理する。	
3分	○まとめ	・黒板にある言葉から考えるように促す。	
10分	○振り返り問題	・三角形に変形して考えてもよいことを伝える。 【類題の達成基準】 ◎既習の図形に変更して、台形の面積を求めることができる。 ○既習の図形に変形して、台形の面積を求めようとしている。 ●既習の図形に変形することができない。	
終末 2分	○次時の予告	・台形の公式を導き出すことを伝える。	